

2020（令和2）年4月入学

徳島大学大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
修士課程

学 生 募 集 要 項

（一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試）

徳 島 大 学

趣旨・目的・指針

趣旨

徳島大学は、産官学連携により地方創生を推進することを大学の目標としていますが、地域の生物資源を生かした地方創生を実現化するためには、生物資源学に関する高度な知識と先端的技术に加えて、内閣府の政策である超スマート社会（Society 5.0）への転換が必要とされています。すなわち ICT や AI による新たな価値の創造に貢献できる人材の育成が必要です。

目的

生物資源の持続可能な開発は、人類にとって最も重要な課題の一つであり、地域社会のみならず国際社会においても総合的な取組が必要な分野です。また、1次産業の成長産業化や6次産業化は、地域創生のための国の重要政策になっています。生物資源学専攻は、地域創生の原動力となる国際競争力の高い生物資源の開発に貢献できる人材育成を目的としています。

指針

生物資源のヘルスサイエンスへの応用・製品化等による新しいバイオ産業の創生や、新しい機能食品や食品製造システム等の開発等による新しい食品産業の創生、並びに農工連携による生物生産システムの構築や新しい育種・品種改良技術による一次産業の成長産業化等を目指す教育を進めていきます。

2020(令和2)年4月入学徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻 修士課程

学 生 募 集 要 項

I. アドミッション・ポリシー

(1) 全学アドミッション・ポリシー

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○博士前期課程及び修士課程

- ・ 専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
- ・ 多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
- ・ 世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる産業創出又は医療の深化・発展のために貢献しようとする人

(2) 創成科学研究科のアドミッション・ポリシー

創成科学研究科修士課程では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○求める人物像

1. 専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
2. 多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
3. 世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる新たな価値の創成のために貢献しようとする人

(3) 生物資源学専攻のアドミッション・ポリシー

生物資源学専攻では、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンスへの応用・製品化によって新規バイオ産業の創成に貢献できる人材、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見や新しい食品加工技術によって新規食品産業の創成に貢献できる人材、及び農工連携による生物資源の生産管理システム、革新的な育種・品種改良、

資源の高機能化による1次産業の発展に貢献できる人材の育成を目指し、次のような資質や能力を持った学生を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

生物の機能に強い関心を持ち、生物資源の生産、医薬・食品・エネルギーへの応用等の分野で深い知識と技術を修得し、高度専門職業人として、地域や国際社会において活躍することを目指す意欲的な人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

生物資源に関する諸課題を理解し、深い専門知識により高度な解決策を提案できる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

地域生物資源の6次産業化や1次産業の持続可能な成長産業化について、多様な領域の人々と協働しながら、主体的に取り組むことに意欲的な人

(4) 各コースのアドミッション・ポリシー

(ア) 応用生命科学コースのアドミッション・ポリシー

応用生命科学コースでは、バイオサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域からバイオ産業を育成して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

バイオサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術も活用できる柔軟な思考力を有すると共に、強い関心を持って意欲的に勉学に励むことができる人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

新しいバイオ産業の創成に寄与するため、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(イ) 食料生物科学コースのアドミッション・ポリシー

食料生物科学コースでは、フードサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域から新しい食品産業を育成して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

フードサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術に強い関心を持つと共に、それらを活用する意欲のある人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

新しい食品産業の創成に寄与するため、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(ウ) 生物生産科学コースのアドミッション・ポリシー

生物生産科学コースでは、アグリサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域から1次産業のスマート化を推進して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

アグリサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術に強い関心を持つと共に、それらを活用する意欲のある人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

1次産業の成長産業化に寄与するために、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(5) 入学者選抜の基本方針

- ・筆記試験では、主として本専攻の専門分野に関する知識を含めた外国語能力を評価します。
- ・面接・口頭試問では、主として各コース専門分野の知識・技能に加え、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・協働性を総合的に評価します。

II. 募集人員

コース名	募集人数	
	1次入試	2次入試
応用生命科学コース	7人	若干名
食料生物学コース	7人	若干名
生物生産科学コース	6人	若干名

* 募集人数・各コースの人数はおおよその目安であり、変更することがあります。

* 上記には、外国人留学生特別入試及び社会人特別入試の定員も含まれます。

* 1次入試で定員を満たした場合は、2次入試を行わない場合があります。

* 本専攻の推薦入試に合格した場合は、同時出願した本専攻の他の入試より推薦入試の合格が優先されます。

III. 出願資格

出願資格

【一般入試】

出願することができる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び2020（令和2）年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2020（令和2）年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2020（令和2）年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2020（令和2）年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び2020（令和2）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2020（令和2）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（※詳細は注3を参照）
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者

- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本専攻が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (10) 本専攻において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020（令和2）年3月31日までに22歳に達する者

（注1）出願資格(9)～(10)により出願を希望する者は、「最終学歴の卒業証明書」、「最終学歴の成績証明書」、「出願資格審査申請書」（本専攻所定の用紙）及び「志望理由書及び研究計画書」（本専攻所定の用紙）を1次入試は2019（令和元）年10月3日（木）までに、2次入試は2019（令和元）年10月30日（水）までに生物資源産業学部事務課学務係へ提出してください。

（注2）上記(10)に該当する者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校（出願資格(8)を除く）及び各種学校の卒業者その他の教育施設の修了者で22歳に達した者」です。

（注3）出願資格(7)の詳細は下記のとおりです。

- 一 旧大学令（大正七年勅令第三百八十八号）による大学を卒業した者
- 二 旧高等師範学校規程（明治二十七年文部省令第十一号）による高等師範学校専攻科を卒業した者
- 三 旧師範教育令（昭和十八年勅令第九号）による高等師範学校又は女子高等師範学校の修業年限一年以上の研究科を修了した者
- 四 旧中等学校令（昭和十八年勅令第三十六号）による中学校若しくは高等女学校を卒業した者又は旧専門学校入学者検定規程（大正十三年文部省令第二十二号）により、これと同等以上の学力を有するものと検定された者を入学資格とする旧専門学校令（明治三十六年勅令第六十一号）による専門学校（以下「専門学校」という。）で修業年限（予科の修業年限を含む。以下同じ。）五年以上の専門学校を卒業した者又は修業年限四年以上の専門学校を卒業し修業年限四年以上の専門学校に置かれる修業年限一年以上の研究科を修了した者
- 五 防衛省設置法（昭和二十九年法律第六十四号）による防衛大学校又は防衛医科大学校を卒業した者
- 六 独立行政法人水産大学校法（平成十一年法律第九十一号）による水産大学校（旧農林水産省設置法（昭和二十四年法律第五十三号）、旧農林水産省組織令（昭和二十七年政令第三百八十九号）及び独立行政法人国立公文書館等の設立に伴う関係政令の整備等に関する政令（平成十二年政令第三百三十三号）による改正前の農林水産省組織令（平成十二年政令第二百五十三号）による水産大学校を含む。）を卒業した者（旧水産庁設置法（昭和二十三年法律第七十八号）による水産講習所を卒業した者を含む。）
- 七 国土交通省組織令（平成十二年政令第二百五十五号）による海上保安大学校（国家行政組織法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律（昭和五十八年法律第七十八号）による改正前の海上保安庁法（昭和二十三年法律第二十八号及び旧運輸省組織令（昭和五十九年政令第七十五号）による海上保安大学校を含む。）を卒業した者
- 八 職業能力開発促進法（昭和四十四年法律第六十四号）による職業能力開発総合大学

校の長期課程を修了した者（旧職業訓練法（昭和三十三年法律第百三十三号）による中央職業訓練所又は職業訓練大学校の長期指導員訓練課程を修了した者、職業訓練法の一部を改正する法律（昭和六十年法律第五十六号）による改正前の職業訓練法（昭和四十四年法律第六十四号）による職業訓練大学校の長期指導員訓練課程を修了した者、職業能力開発促進法の一部を改正する法律（平成四年法律第六十七号）による改正前の職業能力開発促進法による職業訓練大学校の長期課程を修了した者及び職業能力開発促進法及び雇用促進事業団法の一部を改正する法律（平成九年法律第四十五号）による改正前の職業能力開発促進法による職業能力開発大学校の長期課程を修了した者を含む。）

九 国土交通省組織令による気象大学校（旧運輸省設置法（昭和二十四年法律第百五十七号）及び旧運輸省組織令による気象大学校を含む。）の大学部を卒業した者

十 教育職員免許法（昭和二十四年法律第百四十七号）による小学校，中学校，高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で二十二歳に達したもの

十一 旧国立養護教諭養成所設置法（昭和四十年法律第十六号）による国立養護教諭養成所を卒業した者で，教育職員免許状による中学校教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者

十二 旧国立工業教員養成所の設置等に関する臨時措置法（昭和三十六年法律第八十七号）による国立工業教員養成所を卒業した者で，教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び三年以上教諭として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有する者

【外国人留学生特別入試】

上記(1)，(3)～(10)のいずれかに該当し，日本国籍を有しないもの。

【社会人特別入試】

上記(1)～(8) (10)のいずれかに該当し，入学までに官公庁，企業，非営利団体等に正規職員として2年間以上の実務経験を有すること。これにあわない場合は個別に認定する。

IV. 出願手続

(1) 提出書類等

【共通】：一般入試，外国人留学生特別入試，社会人特別入試について共通

【共通】 入学願書	所定の用紙に必要事項を記入し，写真（最近撮影した正面，脱帽，上半身縦4 cm，横3 cmのもの）を貼ってください。
【共通】 受験票・写真票	所定の用紙に必要事項を記入し，写真票に上記入学願書と同一の写真（最近撮影した正面，脱帽，上半身縦4 cm，横3 cmのもの）を貼ってください。
【共通】 志望理由書及び研究計画書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
【共通】 成績証明書	出身大学（学部）長が作成した成績証明書
【共通】 卒業（見込み）証明書※	出身大学（学部）長が作成した卒業（見込み）証明書 ※本年度生物資源産業学部卒業見込者は不要
【社会人】 推薦書	所定の用紙に本人の勤務する職場の所属長が作成したもの
【共通】 学位授与証明書等	出願資格(2)に該当する者は，独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書を添付してください。 出願資格(3)～(5)に該当する者は，学位記の写し等を提出してください ※出願資格(3)～(5)に該当する者で，学士の学位がない場合は入学試験出願資格審査が必要です。
【留学生】 履歴書	出願資格(3)～(5)に該当する者は，所定の用紙に必要事項を記入してください。
【留学生】 外国人登録原票記載事項証明書又は旅券の写し	外国人留学生として志願する者は提出してください。
【共通】 検定料払込証明書	検定料 30,000 円 検定料を郵便振込した後，受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）に貼って提出してください。なお，海外在住の志願者については，クレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS 等）又は中国銀聯カードによる払い込みが可能です。海外からの出願方法等については「ⅩⅢ徳島大学留学生ポータル」を参照ください。
【共通】 あて名票3枚	合格通知送付用封筒に貼るので，確実に受け取れる住所，氏名，郵便番号，電話番号を記入してください。
【共通】 受験票送付用封筒	所定の封筒に374円分の切手を貼り，自己の住所，氏名，郵便番号を明記したもの。

(注1) 中国の高等教育機関を卒業した者は，学歴証明をオンラインで確認しますので，中国高等教育学生情報網（<http://www.chsi.com.cn>）で照会番号を取得し，履歴書に記載してください。

(注2) 出願書類のうち，日本語以外で書かれた証明書には，日本語訳を添付してください。

(注3) 志願者は，必ず出願前に，志望する指導教員と研究内容等について相談をしておいてください。

(注4) 指導教員を選択する場合の各教員の研究指導内容については，16ページ以後を参照してください。

(注5) 国費留学生は検定料不要です。

(注6) 1次入試を受けられた方で2次入試も受けられる方は，願書等は別途送付いたしますので，生物資源産業学部事務課学務係へご連絡ください。（電話番号 088 - 656 - 8021）

(2) 出願期間

1次入試 2019(令和元)年10月21日(月)～2019(令和元)年10月23日(水)(必着)

2次入試 2019(令和元)年11月25日(月)～2019(令和元)年11月27日(水)(必着)

(3) 出願書類等の提出先

〒770-8513 徳島市南常三島町2丁目1番地 徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

(4) 出願方法

- ① 入学志願者は、出願書類等を取りそろえ、出願期間内に持参又は郵送により出願してください。
- ② 郵送の場合は、「書留」とし、封筒には「大学院入学願書在中」と朱書きしてください。
- ③ 持参の場合の受付時間は、9時～12時、13時～17時です。
- ④ 出願期間を過ぎたもの及び出願書類に不足のある場合は受理しません。

(5) 受験票の送付

出願書類を受理したときは、本専攻受験票を1次入試は2019(令和元)年10月29日(火)までに、2次入試は2019(令和元)年12月9日(月)までに着くように送付します。期限までにこれらの書類が到着しない場合は、必ず電話照会してください。

(電話番号 088-656-8021)

V. 入学者の選抜

(1) 選抜方法

【一般入試・外国人留学生特別入試】

入学者の選抜は、筆記試験、口頭試問、面接及び書類審査の結果等によって総合的に判断して行います。

【社会人特別入試】

入学者の選抜は、口頭試問、面接及び書類審査の結果等によって総合的に判断して行います。

(2) 試験日程

1次入試

【一般入試・外国人留学生特別入試】

試験日	試験時間	試験科目等
2019(令和元)年11月10日(日)	9:30～11:30 試験室集合時間 9:00	外国語(英語)※
2019(令和元)年11月10日(日)	13:00～ 試験室集合時間 12:30	面接・口頭試問

※の受験科目は一般入試を外国人留学生が受験する場合は英語か、日本語の選択となり、外国人留学生特別入試については、英語及び日本語となります。

【社会人特別入試】

試験日	試験時間	試験科目等
2019(令和元)年11月10日(日)	13:00～ 試験室集合時間 12:30	面接・口頭試問

2次入試 …………… 1次入試で定員を満たした場合は行わない場合もあります。

【一般入試・外国人留学生特別入試】

試験日	試験時間	試験科目等
2019(令和元)年12月26日(木)	9:30～11:30 試験室集合時間 9:00	外国語(英語)※
	13:00～ 試験室集合時間 12:30	面接・口頭試問

※の受験科目は一般入試を外国人留学生が受験する場合は英語か、日本語の選択となり、外国人留学生特別入試については、英語及び日本語となります。

【社会人特別入試】

試験日	試験時間	試験科目等
2019(令和元)年12月26日(木)	13:00～ 試験室集合時間 12:30	面接・口頭試問

(3) 試験科目の注意点等

【一般入試】

筆記試験 外国語(英語)※

※外国人留学生の場合は日本語か英語を選択してください。

英語辞書(英和)1冊のみ持ち込み可(英和・和英併記の辞書等の英和以外のものが一体となった辞書, 電子辞書, スマートフォンは不可)

日本語受験の方は日本語辞書の持ち込みはできません。

面接・口頭試問

面接と口頭試問により行います。

【外国人留学生特別入試】

筆記試験 外国語(英語及び日本語)

英語辞書(英和)1冊のみ持ち込み可(英和・和英併記の辞書等の英和以外のものが一体となった辞書, 電子辞書, スマートフォンは不可)

日本語辞書の持ち込みは不可。

面接・口頭試問

面接と口頭試問により行います。

【社会人特別入試】

面接・口頭試問 面接と口頭試問により行います。

(4) 志望コース指導教員の選択

入学願書、受験票、写真票、志望理由書及び研究計画書に、入学後志望するコース、指導教員を記入してください。ただし、当該の指導教員に多数の志望者が集中した場合、必ずしも、当該の指導教員の指導を受けられないことがあります。

VI. 合格者の発表

1次入試 2019(令和元)年11月15日(金)10時

2次入試 2020(令和2)年1月10日(金)10時

合格者には、本人あて文書により通知します。なお、電話等による合否についての照会には応じません。

(注) 合格者情報は、学部ホームページ <https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/> に1週間程度掲載します。

ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うものであり、合格通知書を公式のものとしします。また本専攻の推薦入試と推薦入試以外の入試は併願可能ですが、推薦入試の合格者となった場合は、その他の入試の合格者とはなりません。

VII. 入学手続き

入学手続きについては合格者に別途通知します。

なお、入学後に職業を有する方は、入学手続き時に勤務先の所属長の承諾書を提出してください。(様式任意)

授業料等学生納付金

(1) 入 学 料 282,000 円

(2) 授 業 料 前期分 267,900 円
年 額 535,800 円

(3) その他の経費 8,000 円～ 54,000 円程度

(注1) 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注2) 上記については現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注3) 入学料、授業料ともに、経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

(注4) その他の経費には後援会費、学生教育研究災害傷害保険料等が含まれます。本学の出身者かどうかで金額が異なります。

(注5) 入学手続きに必要な書類等は、入学手続き期間前に郵送で通知します。(2月中旬予定)

Ⅷ. 障がいのある入学志願者との事前相談について

受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、あらかじめ相談が必要ですので、下記の期日までに本学生物資源産業学部事務課学務係へ申し出てください。

(1) 相談の期限

1次入試 2019(令和元)年10月3日(木)まで

2次入試 2019(令和元)年10月30日(水)まで

(2) 相談の方法

次の①～⑧を記載した申出書(様式は任意)を提出してください。必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者との面談を行います。

①住所、氏名、連絡先

②出身学校

③志望コース・受験科目

④障がいの種類・程度

⑤受験上特別な配慮を希望する事項

⑥修学上特別な配慮を希望する事項

⑦出身学校でとられていた特別措置の内容

⑧日常生活の状況等

なお、参考のために健康診断書の提出を依頼する場合があります。

Ⅸ. 入学許可の取り消し

(1) 合格者が、入学手続き完了後に大学等を卒業できなかった場合には、入学許可を取り消します。

(2) 出願書類及び入学手続き等に関する書類等について、虚偽のものを提出したこと、又はその他の不正な事実が判明したときは、入学後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

X. 欠員補充の方法

入学定員に欠員が生じた場合は、次の方法により欠員補充を実施することがあります。

(1) 追加合格

追加合格を実施する場合は、2020(令和2)年3月2日(月)以降に入学願書の「連絡先」に直接通知します。(2020(令和2)年3月2日(月)以降は、入学願書の「連絡先」に必ず連絡が付くようにしてください。)

XI. 個人情報取り扱い

出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理し、他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

- ①入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務
- ②合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金援助、就職支援等）、授業料等に関する業務

また、入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究（入試の改善や志願動向の調査、分析等）のために利用します。

XII. 社会人学生の学修と研究及び教育方法の特例について

- (1) 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育（夜間開講等）について

通常、官公庁・企業等において勤務している社会人が修士課程で学ぶ場合、2年間完全に勤務を離れ、学業に専念することになります。この修学条件を満たすことが難しい社会人学生に対しては、大学院設置基準第14条に「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」ことが規定されているため、この制度を利用して教育方法の特例を実施します。

- (2) 長期履修学生制度について

学生が職業を有しているなどの事情により、通常の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られるため、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者に対して、申請に基づき、大学が審査し、その長期にわたる計画的な履修を認め、その在学期間中の授業料の負担を軽減することができる制度です。

例) 3年間の履修計画により申請し、審査で承認された場合、標準修業年限2年間の授業料と同額を、許可された3年間かけて納入することになります。

XIII. 徳島大学留学生ポータル

徳島大学ホームページに、外国に住んでいて徳島大学へ留学を希望している方のために開設した「徳島大学留学生ポータル」サイトがありますので、お知らせします。

学部・大学院の概要、教員、研究者紹介、入学までの手続き、各種奨学金、留学生宿舍、就職・進路などを説明しています。

このサイトにより、徳島大学を知るための参考としてください。

徳島大学のトップページ → 外国から留学希望の皆様へ（左側中段バナー） → 徳島大学留学生ポータル (<https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/>) → 大学院への留学

XIV. その他

- (1) 入学願書受付後は、提出した書類の変更及び検定料の払い戻しはしません。
- (2) 入学願書を郵便で請求するときは、250円分の切手を貼った自己宛（住所・氏名・郵便番号明記）の返信用封筒（角2封筒 33.2cm×24.0cm）を同封の上、大学院〇〇入試募集要項請求と朱書きして本学生物資源産業学部事務課学務係へ申し込んでください。（〇〇は該当する一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試のいずれかを記載すること）
- (3) 出願手続きその他に関して疑問の点がある場合は、返信用封筒（住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手を貼ったもの）を同封の上、下記へ文書で照会してください。

なお、受験票受領後提出する書類には、すべて氏名の上に受験番号を明記してください。

照会先 〒770-8513 徳島市南常三島町2丁目1番地
徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

- (4) 学部ホームページ（下記 URL）もご参照ください。
<https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/admissions-information/>

出願資格(9)により出願する者の資格審査について

大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者

審査は書類審査のため学歴（高等教育機関）、資格等について証明するものを必ず添付してください。（本学で受けた教育についても証明が必要です。）

1. 大学に3年以上在学し、本専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者

提出書類

- ①出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ②出願資格審査調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ③志望理由書及び研究計画書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ④在学証明書
- ⑤在籍大学の学業成績証明書（最新の学業成績が記載された証明書で厳封したもの）
- ⑥在籍大学の大学学部・学科の履修要覧（要項等）
- ⑦在籍大学の受験承諾書
- ⑧返信用封筒（長3封筒 23.5 × 12.0cm）374円分の切手を貼り、郵便番号・住所・氏名を明記すること

2. 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本専攻において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者

提出書類

- ①出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ②出願資格審査調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ③志望理由書及び研究計画書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ④最終出身大学の修了証明書
- ⑤最終出身大学の学業成績証明書
- ⑥推薦書（最終出身大学の学科主任、指導教員等が記載し、厳封したもの）
- ⑦返信用封筒（長3封筒 23.5 × 12.0cm）に374円分の切手を貼り、郵便番号・住所・氏名を明記すること
* 返信先が日本国外の場合、日本から自国までのEMS送料分の切手または国際返信切手券（International Reply Coupon）を同封すること。

3. 提出期間

- 1次入試 2019(令和元)年10月1日(火)～2019(令和元)年10月3日(木)17時まで(必着)
2次入試 2019(令和元)年10月29日(火)～2019(令和元)年10月30日(水)17時まで(必着)
(郵送の際は書留郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。)

4. 提出先 〒770-8513 徳島市南常三島町2丁目1番地 徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

2. 出願資格審査結果の通知

- 1次入試 2019(令和元)年10月15日(火)までに本人あて通知します。
2次入試 2019(令和元)年11月19日(火)までに本人あて通知します。

※提出書類に関する注意

1. 日本語以外で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
2. 中国の高等教育機関を卒業したものは、学歴証明をオンラインで確認しますので中国高等教育学生情報網（<http://www.chsi.com.cn>）で照会番号を取得し、出願資格審査調書に記載してください。

出願資格(10)により出願する者の資格審査について

本専攻において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2020（令和2）年3月31日までに22歳に達する者

審査は書類審査のため学歴（高等教育機関）、資格等について証明するものを必ず添付してください。（本学で受けた教育についても証明が必要です。）

1. 提出書類

- ①出願資格審査申請書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ②出願資格審査調書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ③志望理由書及び研究計画書（所定の用紙に必要事項を記入してください。）
- ④高等教育を受けたことを証明するもの（卒業証明書、在学証明書等）
- ⑤高等教育の全期間の学業成績証明書
- ⑥論文、著書、報告書、学会発表資料（本人が当該学会で発表したことが確認できるプログラム等を添付すること）、研究レポート等（コピー可）、指導教員等の推薦書があれば必ず添付してください。また、関連する専門資格・技能検定の証明書等があれば必ず添付してください。
- ⑦返信用封筒（長3封筒 23.5 × 12.0cm）に374円分の切手を貼り、郵便番号・住所・氏名を明記すること
* 返信先が日本国外の場合、日本から自国までのEMS送料分の切手または国際返信切手券（International Reply Coupon）を同封すること

2. 提出期間

- 1次入試 2019(令和元)年10月1日(火)～2019(令和元)年10月3日(木)17時まで(必着)
2次入試 2019(令和元)年10月29日(火)～2019(令和元)年10月30日(水)17時まで(必着)

（郵送の際は書留郵便とし、封筒表面に「出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。）

3. 提出先 〒770-8513 徳島市南常三島町2丁目1番地
徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

4. 出願資格審査結果の通知

- 1次入試 2019(令和元)年10月15日(火)までに本人あて通知します。
2次入試 2019(令和元)年11月19日(火)までに本人あて通知します。

※提出書類に関する注意

1. 日本語以外で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。
2. 中国の高等教育機関を卒業したものは、学歴証明をオンラインで確認しますので中国高等教育学生情報網（<http://www.chsi.com.cn>）で照会番号を取得し、出願資格審査調書に記載してください。

大学院担当教員の指導内容

志願者は、必ず出願前に、志望する指導教員と研究内容等について相談をしておいてください。ただし、当該の指導教員に多数の志望者が集中した場合、必ずしも、当該の指導教員の指導を受けられないことがあります。

【応用生命科学コース】

近年、生命が持つ多様な機能の有効利用技術は、農学、工学、医学等の分野で進められ、その成果は人類が抱えるエネルギー、環境、医療、食糧などの諸問題の解決に大きく貢献すると期待されています。

応用生命科学コースでは、生物工学的手法を用いて、生物資源または成分並びにそれらの化学合成誘導体から新しい機能性物質を探索し、医薬品、化成品、機能性食品等への応用によって新規バイオ産業の育成と経済の発展に寄与できる人材の育成を目指します。高安定性・高機能性の化合物の分子設計において、生物学だけでなく、他分野の手法を活用する方法を学ぶことにより、ヘルスサイエンスに応用可能な新しい化合物の開発に必要な高度な専門知識と技術を修得するための教育研究を行います。

応用生命科学コースの専門科目として、創薬学特論、細胞工学特論、生物化学工学特論、生体熱力学特論、生物物理化学特論、先端生命科学特論、環境生物学特論、再生医学特論、微生物工学特論、ケミカルバイオロジー特論、細胞情報学特論、微生物検査学特論等が開講されています。

役職	指導教員	指導内容
教授	宇都義浩	腫瘍移植鶏卵を利用した制癌剤の創薬研究
教授	中村嘉利	生物資源の有効利用と生物的環境修復技術に関する研究
教授	長宗秀明	微生物由来生理活性分子の機能研究とその応用研究
教授	松木均	両親媒性分子集合系の生物物理化学的研究
准教授	浅田元子	超高温耐熱性セルラーゼの生産とバイオマス分解への応用
准教授	玉井伸岳	脂質膜の構造および物性に関する物理化学的研究
准教授	友安俊文	微生物の宿主内や環境中での生存戦略についての研究
准教授	湯浅恵造	動物細胞における細胞内情報伝達機構の解析とその応用
講師	岸本幸治	がん幹細胞が卓越した生存能力を獲得する仕組みの解明
講師	白井昭博	光反応を利用した微生物制御技術の構築
講師	田端厚之	微生物由来機能因子の研究と微生物検出システムの開発
講師	山田久嗣	化学プローブを駆使した生体ケミカルバイオロジー

【食料生物学コース】

食品分野では、安全な食料の効率的生産による安定供給と機能食品開発に貢献できる能力が必要であり、農学、工学、医学、栄養学、薬学的アプローチによる食品の加工・保蔵、機能、安全、栄養、未利用生物資源に関する研究開発を製品開発も含めて行うことが求められています。

そこで食料生物学コースでは、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を育成します。農林畜水産物や未利用生物資源の栄養性、機能性、安全性等を深く理解し、その利点を有効に活用した新しい加工食品、機能性食品等の開発に貢献できる能力、さらにグローバル GAP や HACCP に適合した食品製造システムを構築できる能力が修得できます。食品機能に関連して、栄養生化学、機能性食品学、生体機能学、分子組織代謝学、資源利用学、食品加工に関連して、食品加工保蔵、酵素化学、応用微生物学、食品評価に関連して、食安全学、食品評価が開講され、さらに企業や自治体による生物資源の産業化に関する科目、食料の機能解析法や農工商連携の実践力を培う実習が開講されています。

役職	指導教員	指導内容
教授	金丸 芳	食品成分による食環境の微生物制御
教授	櫻谷 英治	微生物変換と発酵を活用した有用物質生産に関する研究
教授	田井 章博	食品および関連材料からの生物活性製品の研究開発
教授	田中 保	機能性脂質分子からの創食・創薬研究
准教授	赤松 徹也	唾液腺の発生・分化・再生と機能発現に関する研究
准教授	川上 竜巳	極限環境微生物由来酵素の機能構造応用研究
准教授	佐々木 千鶴	未利用天然物資源由来の有用化学物質の生産とその応用
准教授	向井 理恵	食品機能成分による健康増進効果の研究
准教授	山本 圭	健康と病態に関わる脂質ネットワークの研究

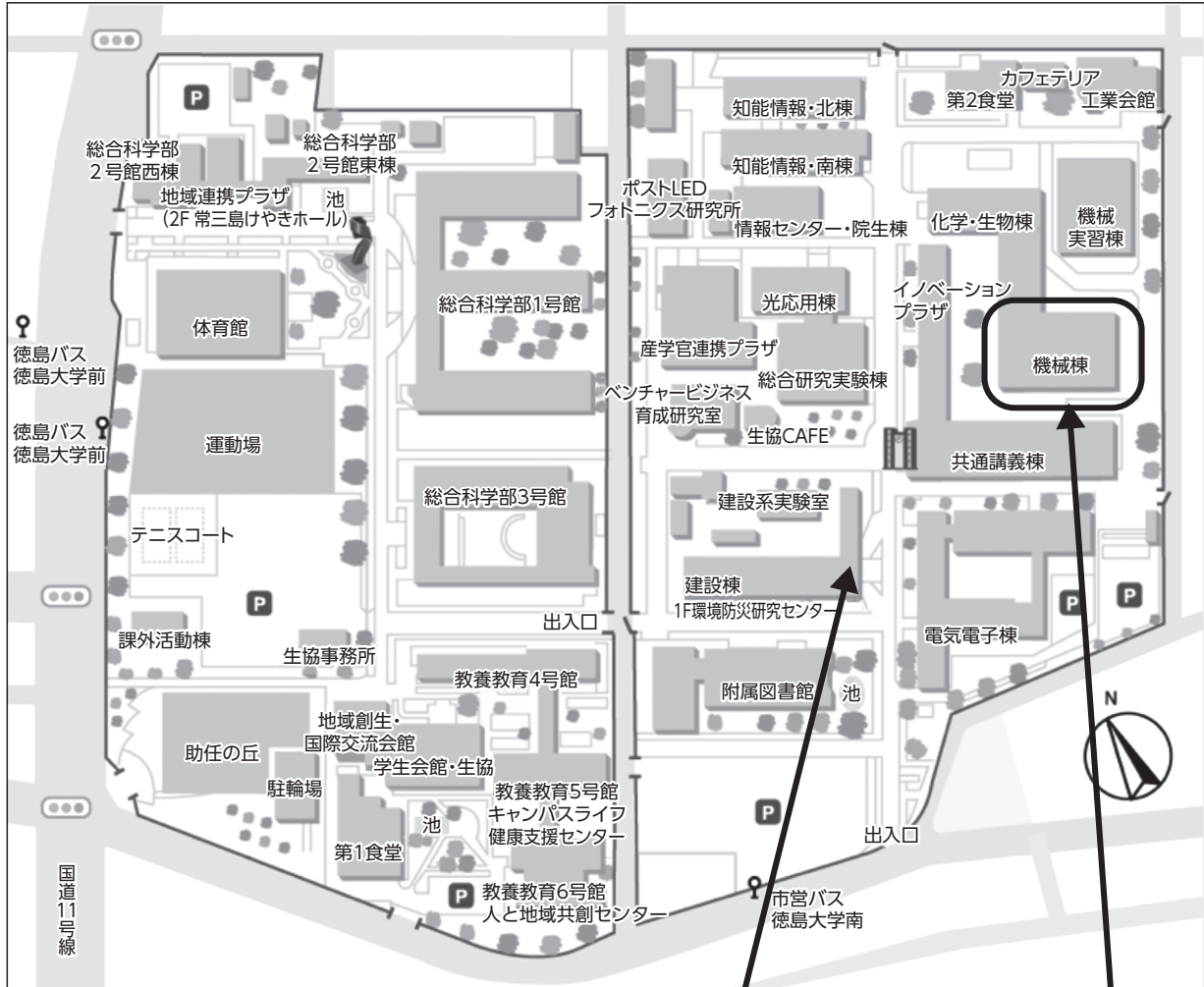
【生物生産科学コース】

21世紀の農業は、植物工場に代表されるように先端技術を利用した生物生産システム、生物が本来有する遺伝子による品種改良、生産生態系における資源管理手法や増殖技術、高付加価値を有する動植物の開発や種苗生産、さらにはフードシステムの基本的理解に基づく市場ニーズ動向を的確に捉えた販売戦略等の先端的・複合的な能力が求められています。そのため本コースでは、先端的作物生産、家畜繁殖、育種工学、植物工場、資源増殖等について製品開発や販売戦略等も含めて教育研究するとともに、安全な生物資源の安定供給に関わる諸問題について多面的観点から解決法を探求し、生産性の高い持続可能な1次産業および農林畜水産物を6次産業化する実践力を滋養するための高度な知識・技術力を強化した教育研究を行っています。

特に生物生産科学コース専門科目は、農作物や家畜の育種技術、植物工場などの生物生産システム、持続可能な生物資源の活用法等に関する専門知識について体系的に学び、さらに、ゲノム編集や細胞工学による動物や植物の品種改良および植物工場による生産管理に関する科目、6次産業関連科目群等が開講されています。

役職	指導教員	指導内容
教授	刑部敬史	植物遺伝子工学および分子育種の研究
教授	音井威重	生殖工学による遺伝子改変動物に関する研究
教授	竹本龍也	胚で多彩な細胞が時空間的に産み出される発生システム
教授	濱野龍夫	水生動物や藻類の増養殖や保全に関する研究
教授	森松文毅	動物生産システムおよび畜産物利用に関する研究・開発
准教授	刑部祐里子	植物の分子育種および環境応答生理学の研究
准教授	佐藤征弥	植物保護および造園設計に関する研究
准教授	服部武文	森林微生物代謝機構の解明と林産物高付加価値への応用
准教授	三戸太郎	昆虫のゲノム機能と資源化に関する研究
准教授	宮脇克行	植物栽培を中核とした生物環境工学とその応用研究
准教授	山城考	被子植物の分類、生態、保全に関する研究
講師	山下聡	森林棲生物に関するマクロ生物学的研究

【常三島キャンパス】



2 F 生物資源産業学部事務課学務係

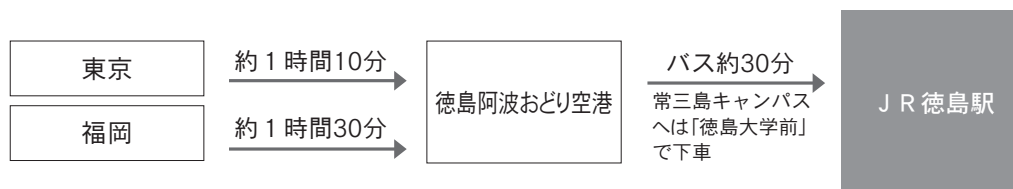
試験場

位置図



交通アクセス

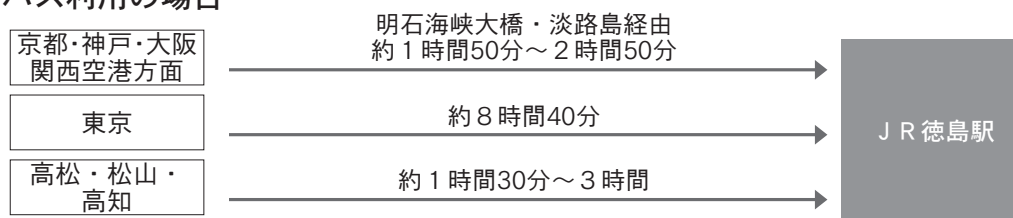
■航空機利用の場合



■鉄道利用の場合



■バス利用の場合



■フェリーポート利用の場合

